



血管内留置カテーテルの検査法

1. 液体培地に接種して増菌培養する方法

臨床分離用のブイヨン(チガリコレートやトリプトイなど)で培養し、1週間まで毎日培養する。

2. 液体培地と寒天培地を併用する場合

a) Makiらの方法

カーネルを滅菌ピペットでつまみ、血液寒天培地上を4回転以上転がして培養する。菌が発育した場合はコロニーを数え、接種後のカーネルは液体培地に培養しておく。**15コロニー以上菌が発育した場合は感染を疑う。**

b) Cleriらの方法

カーネルを2mlのトリプトイグソンに入れ3回洗浄する。この液を原液として100倍希釈後、その0.1mlを血液寒天培地に接種する。菌が発育した場合はコロニーを数え**10³/ml以上**の場合感染症を疑う。

IVHからの
菌検出状況
(n=153)



2000年度
阪大病院
結核予防会大阪病院
西神戸医療センター

検出菌	検出数	検出割合(%)
<i>S. epidermidis</i>	53	34.6
CNS	11	7.2
MSSA	8	5.2
MRSA	9	5.9
<i>E. faecalis</i>	6	3.9
<i>E. faecium</i>	2	1.3
other GPC	1	0.7
GPR	2	1.3
<i>E. coli</i>	2	1.3
<i>K. pneumoniae</i>	4	2.6
<i>S. marcescens</i>	4	2.6
<i>Enterobacter</i> sp.	4	2.6
<i>P. aeruginosa</i>	11	7.2
NF-GNR	5	3.3
<i>C. albicans</i>	6	3.9
<i>Candida</i> sp.	6	3.9
Other	16	12.5
合計	153	100

IVH先端培養と血液培養

IVH陽性件数 54件（1菌種検出 36件、複数菌検出 8件）

IVH + 血液培養 同時採取 44件

IVHと血液陽性から同時検出 13件

IVHのみ陽性 14件

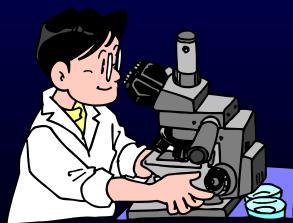
CNS 11

S. aureus 3

血液のみ陽性 2件

E. coli 1

C. glabrata 1



関西感染予防ネットワーク